

吸盤脚式デスクトップパネル

この度は、当社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本説明書を組み立ての前に必ずお読みの上、正しくお取り扱い下さいますようお願いいたします。
また、本書を大切に保管して下さい。

組み立て時のご注意！



注意

- 組み立てる際は、指先などを傷付けないよう、手袋等を着用して下さい。
 - 開封する際は、カッターナイフなどで本体を傷付けないよう十分ご注意下さい。
 - 工具類の取り扱いには、十分ご注意下さい。
 - 組み立ての際はお子さまに注意し、なるべく広い場所で行って下さい。
 - 組立説明書に従って組み立てて下さい。組み立て手順を間違えると、組み立たない場合があります。
 - 組み立て手順に従い、ネジ等で確実に止めて下さい。不十分ですと、製品が破損したりケガをする恐れがあります。
- ※ 部材や床などにキズが付かないよう、ダンボールや毛布等を敷いて組み立てて下さい。

使用時のご注意！



注意

- 吸盤が外れるとパネルが倒れる恐れがありますので、倒れても危険のないような場所に設置して下さい。
 - パネル部分に無理な力を掛けしないで下さい。パネルが壊れてケガをする恐れがあります。
 - パネル部分を持って、机の移動をしないで下さい。壊れたり、外れてケガをする恐れがあります。
 - パネルに持たれかけたり、重いものを引っ掛けたりしないで下さい。転倒したり、壊れてケガをする恐れがあります。
 - 熱源に近づけたり、熱風や直射日光に長時間さらしたりしないで下さい。アクリルが変形したり、金具等の塗装面に変色・剥がれが生じる恐れがあります。
 - 分解や改造をしないで下さい。破損したりケガをする恐れがあります。
 - 異常を見つけたらそのまま使用せず、製造元へご連絡下さい。
- ※ 改善の為、予告無く仕様を変更することがあります。

吸盤の特性について

- 本製品は、吸盤をデスク面に密着し真空に近い状態にさせて、気圧の差により固定します。そのため吸盤の特性上必ず空気が徐々に浸入し外れます。吸着力を保つために、定期的にロックレバーを解除して取り外し、吸盤ゴムの亀裂・変形を点検し、再度組み立て説明書(本紙)の通りにロックレバーをロックさせ真空状態の維持を行って下さい。キズのないガラス天板・下地フィルムに吸着させた場合で通常 1~3ヶ月間吸着力が持続いたしますが、定期的に吸着力の確認を行って下さい。
 - 天板に取り付け後すぐに吸盤が外れる場合は、目には見えない線傷・点傷・ピンホール・凹凸などから空気が侵入していると考えられます。その場合は下地フィルムをご使用下さい。
- ※ 下地フィルムは強い粘着シールですので、外す際に天板を傷つける場合があります。跡が残っても差し支えない所に貼って下さい。また、市販の剥がし剤等で外す場合は天板に染み・色あせ等が出る恐れがあります。ご使用になる剥がし剤の説明書をよく読んでからご使用下さい。下地フィルムのご使用は、下表を参考にして下さい。

下地フィルムなしで取り付けられる天板 (目に見えない線傷・点傷・凹凸・ピンホールがない場合)
ガラス製の天板
平滑な光沢のある塗装された天板
低圧メラミン化粧板貼りの天板 (一般的にデスク・テーブル等の木質板)で、エンボス加工のないもの

下地フィルムが必要な天板

革製、及び柔らかい素材の天板
天然木の節や年輪が表面となっている天板
単板・合板・ベニヤ板・コルク・積層材・突板・集成材等、表面が空気を通す素材の天板
大理石の天板
目に見えない擦りキズ・凹キズ・凸キズ・シボ・ピンホール等があるすべての天板

- 吸盤は長期間使用しますと、変形や劣化を起こします。歪みや劣化により吸着が弱くなった場合は、使用をやめ新しい製品と交換して下さい。(有償)

お手入れ方法

【アクリルパネルのお手入れ】

ホコリを落とす際は、柔らかい布で乾拭きするか、きつく絞った布等で拭いて下さい。
汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後 硬く絞った布等で洗剤を完全に拭き取って下さい。
※シンナー・アルコール類は使用しないで下さい。

【吸盤のお手入れ】

吸盤面の汚れやホコリを落とす際は、ぬるま湯で洗い流して下さい。その後はしっかりと乾燥させてからご使用下さい。
※シンナー・アルコール類は使用しないで下さい。

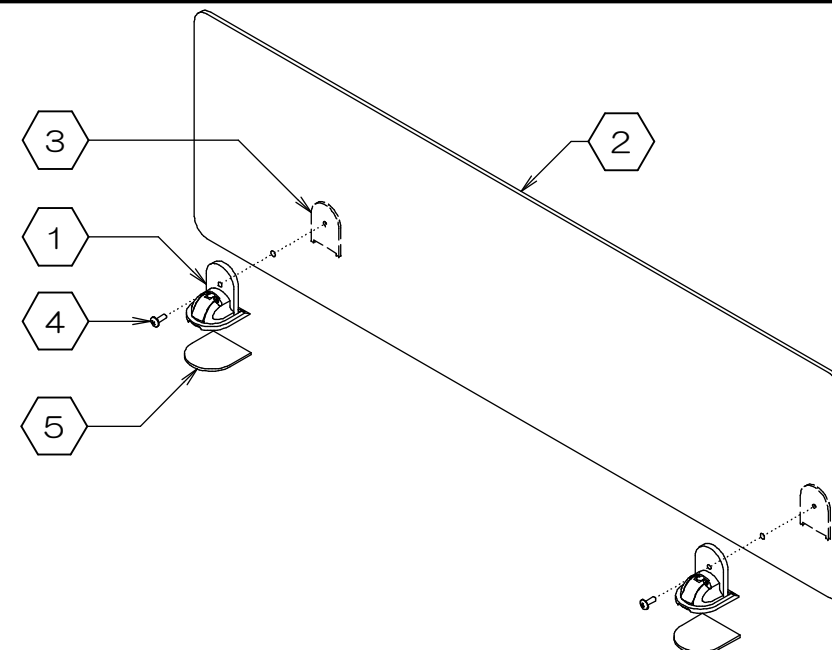
製品仕様 外形寸法：YSP-001=幅 68cm×奥行6cm×高30.5cm 重量=1.9kg
YSP-002=幅100cm×奥行6cm×高30.5cm 重量=2.2kg
YSP-003=幅120cm×奥行6cm×高30.5cm 重量=2.5kg
YSP-004=幅 45cm×奥行6cm×高30.5cm 重量=1.0kg
主要材料：スチール、アクリル、ABS樹脂
表面処理：スチール=パウダー塗装、アクリル=クリアフロスト

Made in Taiwan
J1620-R3

組み立てる前に、各部品を確認して下さい。

※組み立ての際は、プラスドライバーをご用意下さい。

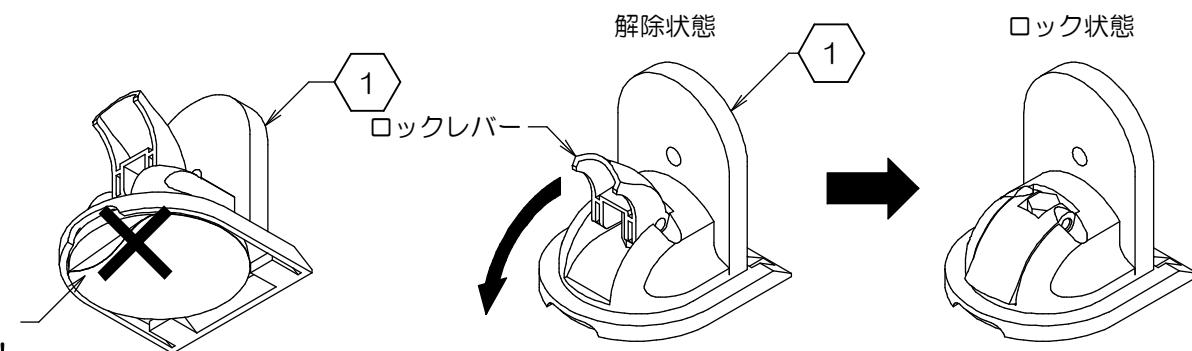
項目	部品名称	数量
1	吸盤脚	2
2	アクリルパネル	1
3	受け金具	2
4	ネジ(M5x15)	2
5	下地フィルム	2



1. 吸盤脚の準備

※ 吸盤に貼り付けてある保護シートは作業5まで取り外さずに作業を行って下さい。

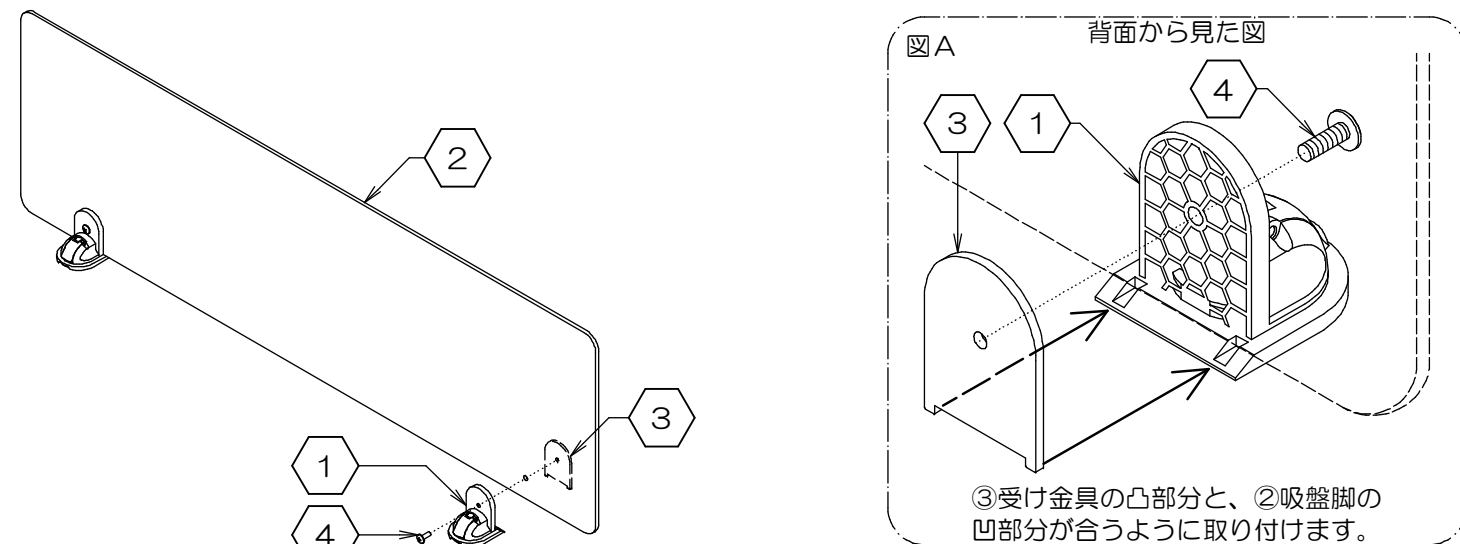
- ①吸盤脚を取り出し、ロックレバーを下に押し下げて、ロック状態にしておきます。
- 同様に、もう1個の①吸盤脚のロックレバーも押し下げて、ロック状態にしておきます。



白い保護シートは最後まで取り外さない！

2. 吸盤脚の取り付け

- ②アクリルパネルに前項で準備した①吸盤脚と③受け金具を、④ネジで固定します。このとき、③受け金具の凸部と①吸盤脚の凹部が合うように取り付けして下さい。(図A参照)
 - 注)④ネジは強く締めすぎないで下さい。①吸盤脚が破損する恐れがあります。
 - 同様に、もう一組も取り付けます。
 - ネジを締めたあとは、ロックレバーを解除状態にしておいて下さい。
- ※ デスクに吸着されていないときにロック状態のままですと、吸盤が変形する恐れがあります。



お問い合わせ先
製造元：株式会社 林製作所 072-960-0500
〒578-0925 東大阪市稲葉1-4-50
ホームページURL：http://www.hayashi-yumeita.com/

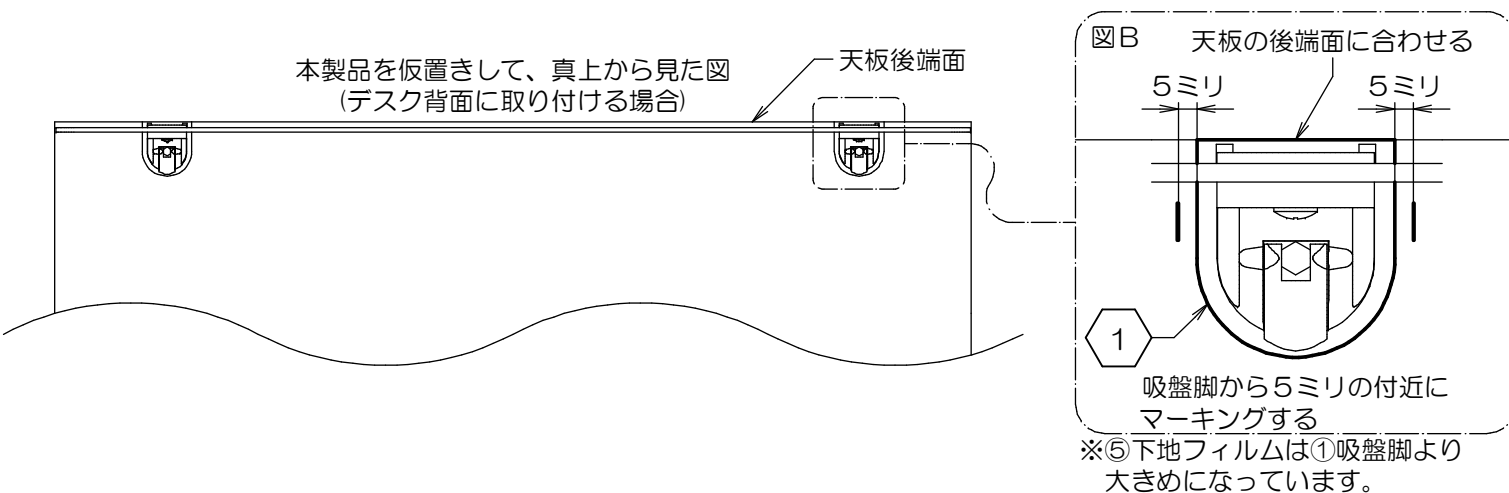
YSP-001
YSP-002
YSP-003
YSP-004

3. 下地フィルムの位置決め

※ 前ページの[吸盤の特性について]をよく読み、⑤下地フィルムの設置が必要ない場合は、作業3・4をスキップして作業5へお進み下さい。

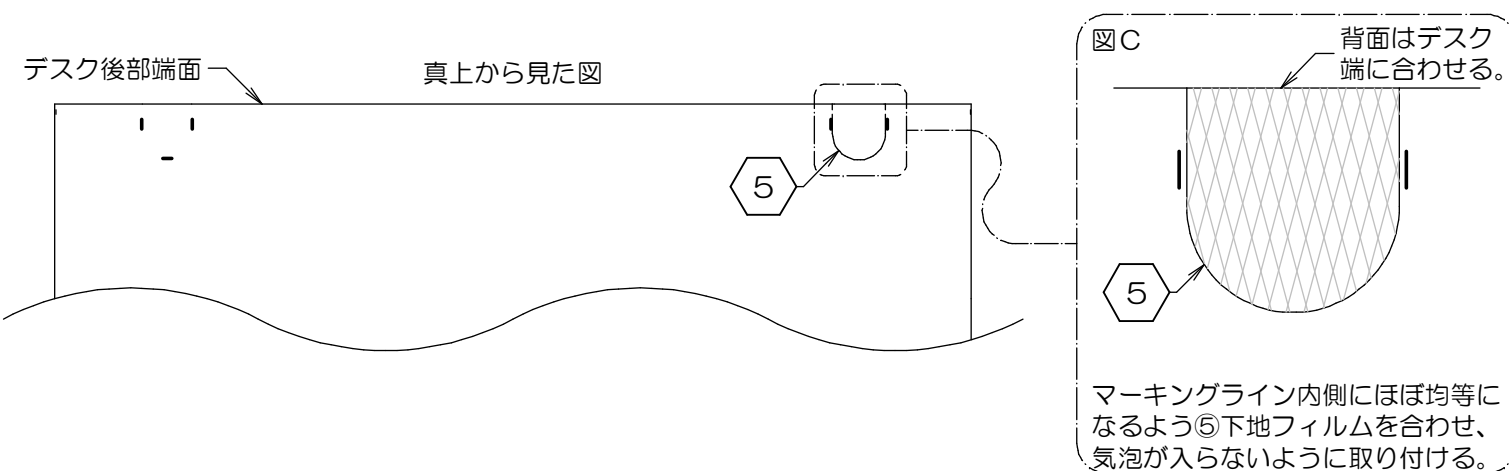
※ 下地フィルムは強い粘着シールです。シールを剥がす際に天板を傷つける場合があります。跡が残っても差し支えない所に貼って下さい。また、市販の剥がし剤等で外す場合は天板に染み・色あせ等が出る恐れがあります。ご使用になる剥がし剤の説明書をよく読み利用して下さい。

- まず最初に、本製品を取り付ける天板の後端面に仮置きします。
- 取付位置が決まったら、図Bのように①吸盤脚の周囲を2点ほど鉛筆等でマーキングします。
(次項[4. 下地フィルムの設置]後にマーキングは消しますので、鉛筆の使用をお勧めします)
- 本製品を動かさないよう注意しながら、もう一方の①吸盤脚の周囲も、2点ほど鉛筆でマーキングします。
- 吸盤面が、⑤下地フィルムの中に収まる位置に貼ることが重要となります。



4. 下地フィルムの設置

- ①吸盤脚のマーキング後、本体を移動させます。
- ⑤下地フィルムの剥離紙を取り除きます。
- 図Cを参考に、⑤下地フィルムを吸盤脚のマーキング位置の内側に、均等になるように強く貼り付けて下さい。
このとき ⑤下地フィルムと机上面の間に気泡が入らないようご注意ください。



※ ⑤下地フィルムは非常に強力な粘着シールを使用しておりますが、気泡が入ることで凹凸ができ吸着効力が半減します。指で押し広げながら、必ず気泡を押し出して下さい。

※ ⑤下地フィルムを貼り損じた場合や追加で必要の際は、本書に記載されております問い合わせ先にご連絡下さい。有償にて⑤下地フィルムをお送りいたします。

5. 吸盤脚の固定

- ⑤下地フィルムをご使用になられる場合は、⑤下地フィルムの汚れやホコリ・油等をしっかりと拭き取ります。
机上面に直接設置される場合は、取り付ける場所の汚れやホコリ・油等をしっかりと拭き取ります。
- ①吸盤脚の白い保護シートを外します。
- 吸盤にもゴミやホコリ等がないことを確認し、デスクに本デスクトップパネルを置きます。

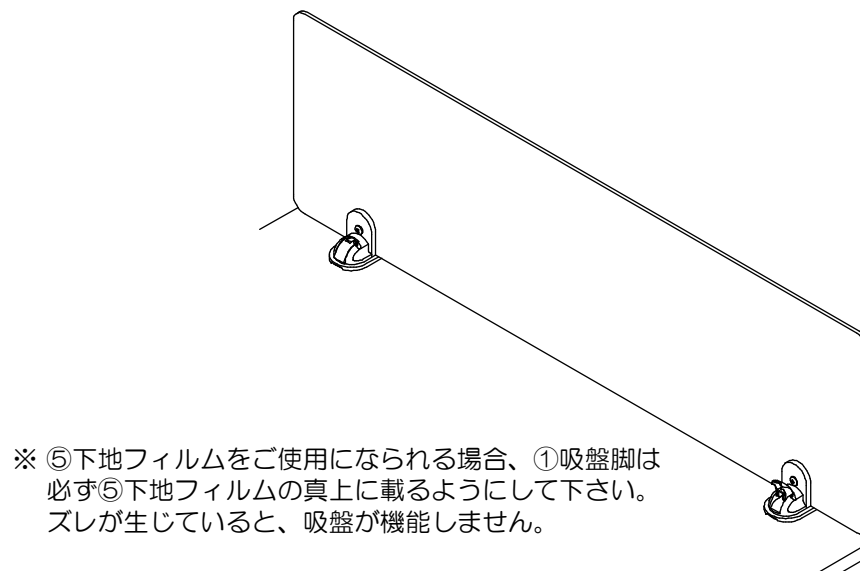
※ ①吸盤脚の固定は、片方ずつ行って下さい。

- **親指と人差し指で①吸盤脚の指押ポイントを強く押さえつけながら、レバーを下げ吸着させて下さい。**

※ 押さえつけが不十分ですと、吸盤に空気が残る強い真空状態が保てません。吸着が不十分なときは、もう一度同じ作業を行って下さい。

※ 気温が上がり内部の空気が膨張することで、吸盤が外れやすくなります。

※ 定期的に吸着力の確認を行って下さい。



※ ⑤下地フィルムをご使用になられる場合、①吸盤脚は必ず⑤下地フィルムの真上に載るようにして下さい。
ズレが生じていると、吸盤が機能しません。

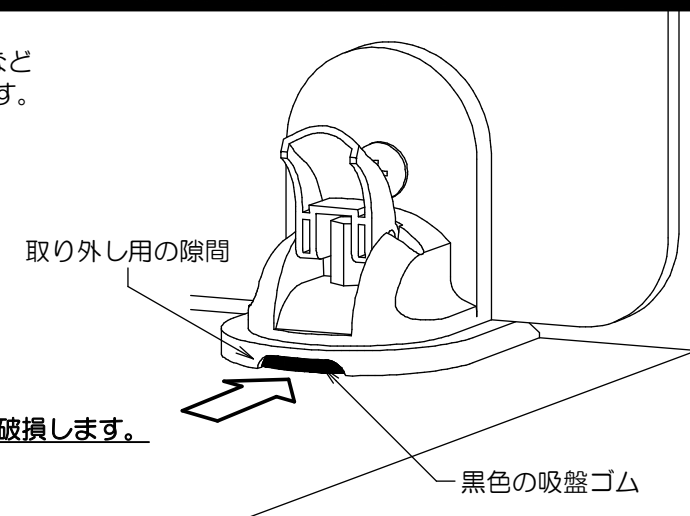
※ 天板に直接設置される場合で、取り付け後すぐに①吸盤脚が外れる際は、天板に目に見えない線キズ・点キズ・凸凹等があり空気が浸入していることが考えられます。
そのような場合は、作業3へ戻り⑤下地フィルムを天板に貼り付けてご使用下さい。

6. 吸盤脚の取り外し方法

- 片方の①吸盤脚のレバーを上げます。
- ①吸盤脚の隙間から見える黒色の吸盤ゴムに、スプーンの先など(硬く・細く・天板や吸盤を傷つけないもの)を差し込み外します。
- もう一方も、同様に外します。

※吸盤の取り外し作業は、必ず指定された方法で行って下さい。

間違った方法で行うと、①吸盤脚や②アクリルパネルを破損します。



☆ホームページで紹介しています☆

吸盤の特性や吸盤脚の固定方法を、弊社ホームページで紹介しています。
組み立て時や使用時の参考にして下さい。

● アクセス方法

以下URLにアクセスいただくか、スマートフォンから右のQRコードを読み込んでアクセスして下さい。

<http://www.hayashi-yumeita.com/kyuban/kyuban.html>

